

植物関連雑誌のタイトル紹介

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Nakata, Masashi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00055293

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学文化センター、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

○ 利尻研究 第19号 2000年3月

(〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136 利尻町立博物館)

佐藤清吉・宮本誠一郎：礼文島のキノコ(1)(19-21) / 宮本誠一郎：利尻・礼文島のアキノノゲシ属(キク科)(55-56) / 富士田裕子：北海道利尻島種富地区の湿地植生について(61-66) / 五十嵐 博：利尻富士町鴛泊甘露水付近のキンポウゲ属の検討(89-91) / 五十嵐 博：利尻島産帰化植物目録1999(93-96)

○ 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第22号 2000年3月

(〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字糠平 上士幌町ひがし大雪博物館)

丹羽真一・渡辺 修：十勝三股地区(上士幌町)の植物相および生態的特性と開花季節との関係—地域植物相の繁殖特性分析の試みと自然解説への応用—(43-67) / 丹羽真一・渡辺 修・川辺百樹・辻本涼子：上士幌町維管束植物目録補遺(69-71) / 丹羽真一・渡辺 修・渡辺展之：ひがし大雪地域における野生植物の盗掘事例(73-78) / ひがし大雪博物館友の会カラフトモメンヅル調査グループ：十勝地方におけるカラフトモメンヅルとモメンヅルの分布(78-81)

○ 秋田自然史研究 第40号 2000年2月

(〒010-0873 秋田市千秋城下町8-18 田中政行方 秋田自然史研究会)

沖田貞敏：立俣風穴の植物について(1-4) / 菊地卓弥：秋田県鷹巣町大野台、吉野のフロラ(14-25)

○ 千葉県立中央博物館自然史研究報告 第6巻第1号 2000年3月

(〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館)

原 正利：千葉県における照葉樹林の分布と主要構成種の優占度の地域差(31-46) / 原 正利・尾崎輝雄・大場達之：分布北東限のウバメガシ林の種組成と構造(47-52) / 中村俊彦・山本伸行・横地留奈子・鈴木英孝：群落遷移試験地における砂土、赤土、黒土の土壤特性と裸地から7年後の変化(53-66)

○ Natural History Research 第6巻第1号 2000年3月

(〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館)

原田 浩：日本産アナイボゴケ科地衣類分類ノート(XII). *Verrucaria minuscula* H.Harada (英文)(1-4) / 原田 浩・A. Vězda：日本産地衣類の1新種 *Gyalideopsis japonica* (英文)(5-8) / 吹春俊光・大作晃一・井口 潔・浅田正彦：犬の死体分解跡におけるアンモニア菌の発生(英文)(9-14) / 由良 浩・早川真理：カラスノエンドウの種子発芽に及ぼす温度変動の影響(英文)(15-21) / Meya P. Kalindekaffe・藤原道郎・鎌田磨人：カタベイ地方(マラウイ共和国)の人口密集地域における土地利用変化と燃料木消費様式(英文)(23-38)

○ 埼玉県立自然史博物館研究報告 第17号 1999年12月

(〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀨町長瀨1417-1 埼玉県立自然史博物館)

福田 直・長谷川寛・大小治悦夫：タンポポの分布と土壌の関連(47-55)

○ 東京都の自然 第26号 2000年3月

(〒193-0844 八王子市高尾町2436 東京都高尾自然科学博物館)

森廣信子：サクラの開花フェノロジー(13-16) / 森廣信子：雲取山北面の落葉広葉樹林(2) 林冠ギャップ(17-20)

○ 神奈川自然誌資料 第21号 2000年3月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

勝山輝男：神奈川県で採集された日本新産を含む4種の帰化植物(1-4) / 勝山輝男・松本雅人・秋山幸也：日本新産の帰化植物クシバツメクサ(マメ科)(5-6) / 浜口哲一・渡邊幹男・山口奈穂・芹沢俊介：神奈川県平塚市における雑種性帰化タンポポの分布(7-12) / 田中徳久：足柄上郡中井町のデンジソウ群落(13-16)

○ 長野県自然保護研究所紀要 第3巻 2000年3月

(〒381-0075 長野市北郷2054-120 長野県自然保護研究所)

井田秀行・尾関雅章：北アルプス乗鞍岳における車道際のハイマツ年枝の伸長生長(1-7) / 堀田恭子：長野県中信地域における自然保護行政(17-28) / 浜田 崇：1998年4月1日~2日にかけて長野県中部で発生した雨水による森林被害の分布(55-60)

○ 富山県中央植物園研究報告 第5号 2000年3月

(〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42 富山県中央植物園)

兼本 正：琉球列島産シオン属(*Aster*)4タクサの核型(英文)(1-8) / 黒川 道・文 光喜：ゴンゲンゴケ属の新種と新産地(英文)(9-24) / 四分一平内・吉田考造：富山県、立山中腹のブナ樹幹に着生する地衣(25-33) / 神戸敏成・奥 隆善・三位正洋・中田政司：3倍体センノウの試験管内保存(英文)(35-43) / 中田政司・神田博史・竹内美和：オルセイン染色とCMA, DAPI蛍光分染によるトチバナシジミの染色体の観察(英文)(45-51) / 神戸敏成：*Tulipa praestans*の幼芽からのカルス誘導及び増殖(英文)(53-57) / 志内利明：富山県中央植物園に栽培されている植物の染色体数(1)(英文)(59-63) / 吉田めぐみ・吉田 稔：ライチョウの棲息環境としての立山室堂平「丸山」の植生(65-78) / 大原隆明：富山県フロラ資料(4)(79-91)

○ 富山市科学文化センター研究報告 第23号 2000年3月

(〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 富山市科学文化センター)

根来 尚：立山亜高山域弥陀ヶ原におけるハナバチ相の生態的調査(127-139) / 坂井奈緒子：富山県における水生蘚苔類の生態的知見(153-164) / 太田道人：富山県新記録の植物Ⅷ(173-74) / 石須秀和：富山県フロラに追加される植物Ⅱ(175)

○ 富山の生物 39号 2000年3月

(〒930-8555 富山市五福3190 富山大学教育学部生物学研究室 富山県生物学会)

岩坪美兼：スイバの染色体突然変異個体とその実生の核型(1-5) / 芝 実・布村 昇・平内好子：富山県のケダニ類(7-12) / 平内好子・佐藤 卓：富山県白木峰の風衝低木ブナ林の林分構造とササラダニ類(13-20) / 佐藤 卓：富山県上平村ブナオ峠のブナ林の森林構造について(21-33) / 佐藤 卓：1999年全国ブナ結実状況(35-39) / 長井幸雄：富山県植物雑記(5)(57-69) / 山岡正尾：シロバナマンジュシャゲの産地(原産地)及び「不稔」とされている本種にできた種子のこと(71-76) / 佐藤 卓・平内好子・松村 勉：富山県内に見られる代表的森林群落内の温度測定結果(77-82) / 中川定一：氷見市におけるイトモ生育地と同定上の問題点(83-84) / 太田道人：アメリカ東部の湿地性植物を訪ねて(91-96)

○ 石川県白山自然保護センター研究報告 第26集 1999年12月

(〒920-2326 石川県石川郡吉野谷村木滑ヌ4 石川県白山自然保護センター)

大谷恭泰・島田多喜子・野上達也：白山別山油坂の頭付近のハクサンチドリの開花結実調査および無菌播種による増殖の試み(13-17)

○ 福井市自然史博物館研究報告 第46号 1999年12月

(〒918-8006 福井市足羽上町147 福井市自然史博物館)

加藤文男：大賀ハス(縄文ハス)の花の開閉について(117-126)

○ ため池の自然 第31号 2000年6月

(〒444-0873 岡崎市竜美台2-14-2 松井邦郎方 ため池の自然研究会)

薄葉 満：岩手県大星堤の植生(1-5) / 須賀瑛文：秋の水田を中心とした雑草の30年前と現在との比較一

名古屋市北区生棚川付近一 (6-13) / 須賀瑛文: 吉田國二: 尾張・美濃の溜め池周辺に見られる絶滅危惧植物とその保護 (19-24) / 山岡雅俊: 犬山市のため池の水草相 (25-30) / 浜島繁隆: 『梅村甚太郎日記抄』にみる愛知県のため池の植物 (5, 13)

○ 滋賀の植物 第 24 号 2000 年 2 月

(〒520-2342 滋賀県野州郡野州町野州 175-8 蓮沼 修方 滋賀植物同好会)

大谷一弘: 「宮溜調整池」とヒメビシの保護 (続報) (2-8) / 大谷一弘・和田義彦・森小夜子: 「布引運動公園」整備計画に係る貴重植生等の保全について (8-9) / 富長妙議: 日野の自然⑤ 奥之池・丘陵地の植物 (10-14) / 坂口 進: 常春の雲南紀行 (15-19)

○ みねはな 第 47 号 2000 年 3 月

(〒605-0926 京都市東山区今熊野北日吉町 61 みねはな会)

神野一郎: モミラン (1-3) / 斎木保久: シダ類雑感 (4-7) / 唐澤耕司: 口絵解説=Ophrys 2 題 (8) / 渡辺高志: ヒマラヤの香料植物—ネパール・ゴーキョ地方の香料植物について (9-15) / 高橋 亮: ウマノズクサとホソオチョウ (16-17) / 島 由美: 初花との出会い! ヒナノキンチャク (17) / 神野一郎: 口絵解説=ヒナノキンチャク (18-20) / 富士本久登: オニヒノキシダ (21-23) / 三橋俊治: アツモリソウの自生地復元について—大千軒岳方式 (24-25) / 黒野俊夫: 西南極の陸産植物のすがた (2) —種子植物の分布と生態— (26-29) / 中根勇雄: 芦生演習林 (京大) の植物について (30-35) / 片山泰雄: 徳島県野生のサザンカについて (36-42) / 橋屋 誠: 伊万里焼に描かれた植物たち (43-45) / 橋本 薫: 続・雑草メロン (46-47) / 吉年祐一: ジンバブエ・ナミビア・南アフリカの植物紀行 (48-61) / 西口紀雄: 春の安倍奥・大谷崩を訪ねて (62-63) / 外川 誠: 一次シオレ測定草 (64-65) / 日原誠介: 日本レッド・データ・プランツ繁殖記 (3) (66-70) / 原野谷朋司: 山草会の課題—実生増殖の先駆者 辻村伊助氏— (71-72) / 村田悠治: 草と共に試練の洗礼 (73-74) / 石川 律: 昆明世界園芸博の旅 (75-78) / 岡島一允: ウゴシオギクの探訪記 (80-81) / 内藤登喜夫: センノウの生立ち考察—口絵参照— (84-85) / 神園英彦: 一口絵参照—絶滅種が甦る! ハツシマラン (86) / 小田倉正園: 野生ランの段ボール栽培 (87-92) / 森 和男: フジバカマの自生地の謎に迫る (93-116) / 荻原樹徳: オオキンバイザサ—中国では食べものを包む— (117) / 久志博信: 早春の北海道 フラワー・ウォッチング (118-120)

○ 兵庫の植物 第 10 号 2000 年 4 月

(〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字岩山 1054-3 藤本植物研究所内 兵庫県植物誌研究会)

白岩卓巳: 兵庫県におけるシシランの分布とその生態 (1-6) / 白岩卓巳: 兵庫県に分布する日本固有のシダ 3 種 (7-12) / 藤本義昭: 栄養器官と立地を基礎とした兵庫県イネ科植物検索表 (13-38) / 小林禮樹: テンナンショウ属ノート (1) 神戸市域におけるテンナンショウ属の生育地とその地質 (39-42) / 杉田隆三・山本一潔・甘中照雄・田村 統: 揖保郡新宮町植物目録 (43-64) / 小林禮樹・黒崎史平・藤本義昭・三宅慎也: 新池 (神戸市西区押部谷町) 及びその周辺地域の植物相 (65-88) / 水田光雄: 神戸港新産の帰化植物 (1) (89-92) / 藤井俊夫: シデシャジンを篠山市で再発見 (93-94) / 小林禮樹・黒崎史平・藤本義昭: 洲本市平安浦に自生したハマアザミの移植と新たに確認された自生地 (95-98) / 矢内正弘: 但馬採集記 (7) (99-108) / 「兵庫の植物」及び会報の総目次 (1990-2000) (109-116) / 総目次の和名索引 (117-118)

○ 広島市植物公園紀要 第 19 号 2000 年 3 月

(〒731-5156 広島市佐伯区倉重三丁目 495 広島市植物公園)

石田源次郎・赤木勇一: コンニャク栽培品種の染色体観察 (1-5) / 石田源次郎: *Cynorkis fastigiata* の受粉様式 (英文) (7-10) / 濱谷修一: ウェスタン・オーストラリア州南西部の地生ランについて (11-17) / 井上尚子: タイ北部のシダ植物 (19-28) / 濱谷修一: ギアナ高地ロライマ山および周辺地域の植物調査 (29-41)

○ 比和町立自然科学博物館標本資料報告 第 1 号 1999 年 8 月

(〒727-0301 広島県比婆郡比和町大字比和 比和町立自然科学博物館)

浜田展也: 比和町立自然科学博物館に寄贈された鈴木貞雄博士のタケ科植物標本 (1-22)

- 愛媛県総合科学博物館研究報告 第5号 2000年3月
(〒792-0060 新居浜市大生院 2133-2 愛媛県総合科学博物館)
山本貴仁・山根勝枝・小林真吾・川又明德：愛媛県加茂川河口域生物調査の概要 (1-2) / 小林真吾・川又明德：愛媛県加茂川河口域の植物相 (25-33)
- エヒメアヤメ (愛媛植物研究会誌) 第40号 2000年6月
(〒792-0060 新居浜市大生院 2133-2 愛媛県総合科学博物館内 愛媛植物研究会事務局)
橋越清一：南予地方の重要な植生Ⅲ 沖の島 (愛媛県宇和島市) の植物と植生 (1-26) / 兵藤正治：愛媛におけるタチクラマゴケの分布 (16-25) / 兵藤正治：トラノオスズカケ *Veronicastrum axillare* (Sieb. et Zucc.) Yamazaki の分布 (29) / 藤田幹雄：瀬戸内海諸島におけるササ類2属 (ササ属とスズサ属) の分布について (30-37) / 相原英二：愛媛県のミズニラ属 *Isoetes* について (38-43) / 相原英二：愛媛県の河川におけるヤナギ属 *Salix* の分布 (44-59) / 相原英二・川又明德：赤星山のカタクリ群落について (60-70) / 松尾秀邦：イチョウ *Ginkgo biloba* の進化現象の一つ (71-72) / 高橋昌民：照葉樹林文化のふるさとを訪ねて (73-79) / 得居 修：愛媛県産カヤツリグサ科植物雑記 (5) (80-89) / 沖野登美雄：愛媛県産高等菌類Ⅻ (90-94) / 山本四郎・相原英二：県下新記録植物 (30), 県下新産地植物 (29) (95-100)
- 佐賀自然史研究 第6号 2000年5月
(〒840-0041 佐賀市内 1-15-23 佐賀県立博物館内 佐賀自然史研究会)
下山田 隆：塩生植物シチメンソウ群落内の遺伝的変異 (13-15) / 上赤博文・松本幸子：佐賀平野東部で確認されたヒシモドキの新産地 (17-18) / 上赤博文・島 佐代子：ケナフが日本の生態系を破壊する?! (27-30) / 上赤博文・中原正登・田島正敏・久我浩人：佐賀の自然と生物多様性—水辺環境の現状と問題点を中心に— (31-42)
- 佐賀の植物 No35 1999年12月
(〒840-0804 佐賀市神野東 3-4-6 井上英幸方 佐賀植物友の会)
神代智子：馬渡島より海風に乘せて (1-3) / 貞松光男：ヤブマメと地下豆 (4-6) / 荒谷悦郎：天山におけるスミレ類の植生調査 (7-13) / 上赤博文：佐賀平野のクリークの植物 その3 (17-22) / 井上千鶴：アルプスの花の旅 (23-26) / 上赤博文：昨年気づいた植物2題 (27-30) / 貞松光男：佐賀県で新たに記録された植物 (34) / 倉成靖任・川浪 誠：県境の植物2題—ハイイヌガヤ, オニコナスビー (35-36) / 井上康彦：岸岳のシダ植物概要 (37-38) / 岩村政浩：佐賀県産塩生植物の現状 (39-58)
- 鹿児島県立博物館研究報告 第19号 2000年3月
(〒892-0853 鹿児島市城山町 1-1 鹿児島県立博物館)
寺田仁史：トカラ列島宝島の現存植生と植物相 (1-44)

(編集部 中田政司編)